

秋田県教育委員会 令和元年度「障害者の生涯学習支援モデル事業」

特 徴

- 部局横断した庁内連携組織モデル
- 県から市町村への普及・啓発モデル

<事業受託の背景>

- ・特別支援学校卒業生が、休日の日中を一人で過ごしているケースが多く、生涯学習の場や機会の充実が求められている。

令和元年度事業概要

【県】

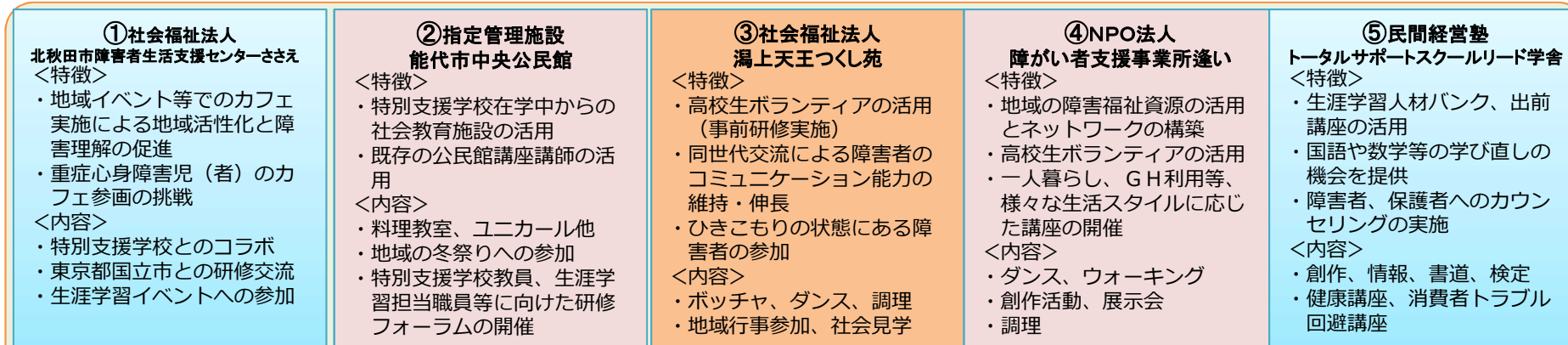
- 障害者のための生涯学習支援連絡協議会（庁内関連部局連携組織）の開催(年2回)
- 連携協議会（有識者・関係団体・再委託先・庁内関係課による協議組織）の開催（年3回）
- 県生涯学習センターによる調査・研究
- 「共に学び、生きる共生社会コンファレンス(東北ブロック)」の開催

【再委託先(5か所)】

- 効果的な学習プログラムや実施体制の研究・開発



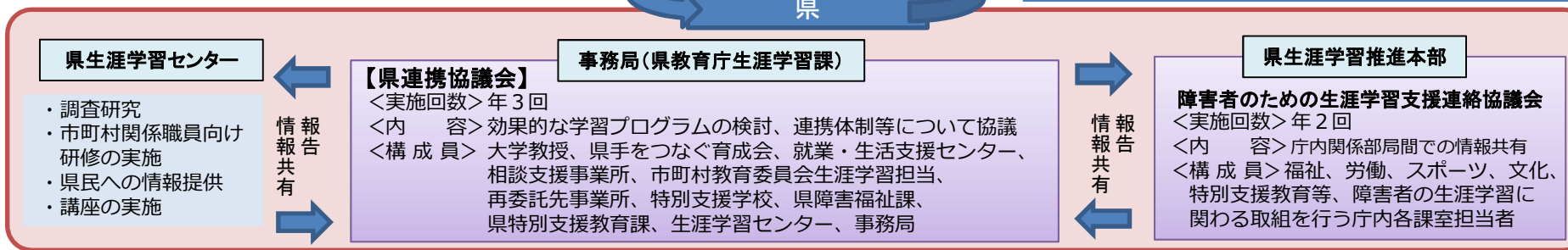
「障害者の生涯学習支援モデル事業」の実施体制



再委託先
県

効果的な学習プログラム・実施体制の情報提供

効果的な学習プログラム・実施体制の開発依頼



令和元年度 共に学び、生きる共生社会コンファレンス(東北ブロック)

- 期日・場所：令和元年12月5日(木)～6日(金) <於：秋田県生涯学習センター>
- 参 加 者：生涯学習・社会教育担当職員、特別支援教育関係職員、障害福祉担当課職員、障害福祉事業所職員、親の会、保護者、当事者等(約150名参加)
- 内 容：行政説明、公演、基調講演、模擬講座、鼎談、分科会
- 参加者アンケート：「これまで障害者と接する機会がなかったが、当事者の方の夢と希望の発表や、講座に参加している様子を知り、障害者観が変わった。」(社会教育関係者)



今後の方向性

令和2年度

- ・再委託先5か所（継続）
- ・県内25市町村で障害者が参加できる講座の開設
- ・生涯学習センターによる調査に基づく市町村への相談・助言等の充実